

2023/8/28

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

## 先週のマーケット動向(8月21日～8月25日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,340.0  | 1,342.8  | 1,319.6  | 1,325.2  | ▲13.1  |
| JPY/KRW | 9.2306   | 9.2411   | 9.0474   | 9.0711   | ▲0.143 |
| KOSPI   | 2,511.70 | 2,539.44 | 2,499.89 | 2,519.14 | +14.64 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,340.0ウォンでオープンした後、人民元安が継続したことでウォン安推移が継続。年初来高値となる1,343ウォン付近では韓国当局によるウォン安抑制姿勢も見られ、上値は限定的な推移となった。翌22日、23日は新規材料に乏しく、BOK会合やジャクソンホール会合を控えた様子見ムードから小動きだった。24日にドル/ウォンは急落。米経済指標の悪化により米金利が低下したことでドル高が一服し、ドル/ウォンは週安値の1,319.6ウォンまで下落した。BOK会合では5会合連続で政策金利の据え置き(3.50%)が決定された。25日は米金利の上昇を受け1,320ウォン台後半で推移も、中国当局が不動産規制の緩和指針を公表すると一時的に人民元高となり、ウォンも買われた。結局、ドル/ウォンは先週末比▲13.1ウォンの1,325.2ウォンで引けた。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや上値重い推移か。先週注目されたJH会合でのパウエル議長発言は無難に通過したものの、今後の米利上げ動向については不透明な状況。今後も経済指標結果などを踏まえ判断されると見られ、今週末の雇用統計には注目が集まろう。人民元動向については、中国当局による景気刺激・規制緩和策が講じられるなど元安にも一服感が出ると見られる。月末に関連した輸出企業によるウォン転フローも想定されることから、今週のドル/ウォン相場は軟調地合いでの推移を予想する。

予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1310 ~ 1335 | 8.95 ~ 9.25 | 144.0 ~ 147.0 |

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 29日(火) 日 7月 失業率  
米 8月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 30日(水) 欧 8月 消費者信頼感指数 確報値  
米 8月 ADP雇用統計  
米 2Q GDP 二次速報
- 31日(木) 米 8月 失業保険新規申請者数  
日 7月 鉱工業指数 速報値  
米 7月 個人所得  
米 7月 個人消費  
中 8月 製造業PMI  
中 8月 非製造業PMI
- 1日(金) 米 8月 製造業PMI 確報値  
欧 8月 製造業PMI 確報値  
米 8月 非農業部門雇用者数  
米 8月 失業率  
米 8月 ISM製造業景況指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。